

泉南市教育振興基本計画（第3次）における 令和6（2024）年度教育重点施策

令和6年3月27日策定

泉南市教育振興基本計画（第3次）（以下「基本計画」という。）は、泉南市の「みらい」を創る子どもたちをどのようにして育てていくのかということを中心に策定しています。

その中で本市が目指す子ども像は、第2次教育振興基本計画を継承して「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」とし、それを実現するため、令和5（2023）年度には市内小中学校の子どもたちが意見を出し合い、自らのことばで「泉南っ子日本一宣言」を掲げました。

令和6（2024）年度は、基本計画の基本方針に沿って「泉南っ子日本一宣言」につながる取組を重点化します。

泉南っ子日本一宣言

わたしたちは



あきらめずに夢にチャレンジする 泉南っ子



チャレンジして学び、できるを増やす 泉南っ子



あいさつで人とのつながりを切り開け!! 泉南っ子



安心安全と笑顔をみんなに 泉南っ子



海のような広い心をもつ 泉南っ子

をめざします

基本方針 1 確かな学力と豊かな心を育成する

(1) 人権教育の推進と豊かな人間性、社会性の育成（基本計画 P27）



性別、国籍、障害の有無、生まれた環境等に関わらず、自己に誇りを持ち、互いの人格を尊重し合える豊かな関係を育めるよう人権保育教育を推進します。

幼稚園、小・中学校では、社会の仕組みを知り、社会の一員として未来を拓くキャリア教育を推進するとともに、自他の人権を守る実践行動につながるような人権に関する知的理解、人権感覚、意識・意欲・態度を育む人権教育や、規範意識や自他を尊重できる心を育む道德教育を推進します。また、子どもが人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じて人権保育、人権教育の向上を図ります。

令和 6（2024）年度

泉南市人権保育・教育基本方針及び同推進プランに沿った人権保育・教育を推進するために、学校園で様々な人権課題についての系統的な取組を進めます。

(2) 学力の向上（基本計画 P27）



子どもの学力向上に向けて、就学前において豊かな環境の中で遊びをとおし、総合的な指導を行い、小学校以降の学習の土台となる学びに向かう力を育みます。また、「確かな学力」の定着を図るため、基礎的・基本的な知識や技能に加えて、思考力・判断力・表現力の育成に努めるとともに、学習意欲の向上と学び続ける姿勢の育成に注力します。特に、言語能力の確実な育成を図る指導や含む情報活用能力を伸ばす指導の充実を図ります。

令和 6（2024）年度

学力向上プランに沿って、全国学力・学習状況調査結果等から子どもの学力や学習状況などの把握・分析を行い、学力向上に向けた取組に反映します。

(4) 国際交流と外国語教育の推進（基本計画 P28）



関西国際空港の臨空都市として、子どもが今後のグローバル社会に対応し、多様な文化に触れながら豊かな心を育むことができるよう、就学前の段階から積極的に国際交流を推進します。

また、小・中学校では、国際交流を継続しつつ、外国語教育の質を高めて語学力やコミュニケーション能力の向上を目指す施策を推進します。具体的には、JET プログラムの外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）を活用して国際交流と外国語教育の取組を積極的に進めます。

令和 6（2024）年度

ALT を活用した言語活動の充実に向けた取組を進め、併せて CIR の派遣を行うことで、学校園における国際交流活動を促進します。

基本方針 2 学びを支える教育基盤を整える

(1) 学校組織力の向上（基本計画 P32）



学校園長の的確な組織マネジメントのもと、全ての教職員がそれぞれの役割を自覚して参画し、学校園が組織としてより一層効果的、効率的に機能するように組織力の向上を図ります。そのため、教育委員会は学校園と連携し、適時性の高い情報共有を行うとともに、学校園における働き方改革と校務の効率化を支援し、教職員の負担軽減を目指します。

令和 6（2024）年度

スクールサポートスタッフの充実や校務支援システムの導入など、教職員の負担軽減に寄与する取組を進めます。

(2) 教職員の資質・能力の向上（基本計画 P32）



教育委員会及び学校園は、多様化する子どもや保護者のニーズ、そして社会や教育現場の変革に向き合うことができる資質・能力を備えた教職員を育成するため、オンラインネットワークも活用して一人ひとりが充実した研修を受講し、段階的に着実に力をつけていけるよう、個別にきめ細かな支援を行います。特に、高い専門性が必要な分野については、外部の専門人材を活用した教職員研修に努めます。

令和 6（2024）年度

学校教育アドバイザー等を活用して校内研修や教科研究の充実を図ります

(3) 家庭学習の充実と支援（基本計画 P33）



子どもの確かな学力の定着に向けて、家庭における学習習慣の形成、ひいては子どもが自ら主体的に学ぶ力を育成するため、小・中学校間の連携、そして学校と家庭との連携強化を図り、家庭学習を支援する施策を推進します。具体的には、ICT 機器の利用頻度が高まることから情報リテラシーを高めるとともに、タブレット端末を活用した家庭学習の仕組みづくりに努めます。

令和 6（2024）年度

学力向上プランに沿って、全国学力・学習状況調査結果等から子どもの学力や学習状況等の把握・分析を行い、学力向上に向けた取組、とりわけ AI ドリルの活用方法の改善に反映します。

基本方針 3 安全・安心な教育環境を整備する

(1) 子どもが抱える課題に対応できる相談体制の充実（基本計画 P35）



子どもが抱える不安や悩みから生じるいじめ問題、不登校、問題行動等に対し、子どもに寄り添い、丁寧に対処するため、学校園における相談体制を強化するなど心のケアの仕組みの再構築に取り組みます。

また、学校園だけではなく、家庭や地域、あらゆる関係機関と連携し、子どもの命を最優先にして、市民とともに子どもが抱える課題の未然防止、早期発見・早期対応・解決に向けた取組を推進します。

令和 6（2024）年度

子どもが抱える課題について専門人材の活用や家庭、地域そして関係機関との連携により早期発見、早期対応に努めるとともに、また不登校支援として新たに校内教育支援員を配置します。

(2) 泉南市立小中学校再編計画の推進と開かれた学校づくり（基本計画 R35）



泉南市立小中学校再編計画の推進に併せて他の公共施設との複合化を検討するとともに、防災拠点や地域コミュニティ拠点となる機能の付加に努めます。

また、学校教育は、学校、家庭、地域等多様な主体が適切な役割を担い、相互に連携することが重要です。学校を核として各主体をつなぐ教育コミュニティの拠点となる開かれた学校づくりに努め、地域や学校が抱える社会的課題の解決を目指します。

令和 6（2024）年度

泉南市立小中学校再編計画に基づき、（仮称）西信達義務教育学校の建設に向け、ハード、ソフトの両面から計画的に取組を進めます。

基本方針 4 生涯学習を推進する

(5) 子どもの居場所づくりの推進（基本計画 P39）



青少年センター、図書館、埋蔵文化財センター等が連携して子どもの居場所を確保し、それぞれの特徴を生かして子どもに多様な体験をさせることによって、社会性、自主性、創造性の豊かな子どもを育むための施策を展開していきます。

令和 6（2024）年度

青少年センター等では子どもの声を形にしていくため、気軽に相談できる場所、そして子どもの日常的な居場所を確立します。また、図書館、埋蔵文化財センター、人権国際教育課等と連携を図り、各小学校へ出向いて行う居場所づくり事業を展開します。